

2023年新年のごあいさつ



日立市長
小川 春樹

次世代への架け橋 〜持続可能なまちづくり〜

新年明けましておめでとございます。

2023年の新春を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大、そして国際情勢に起因する諸物価高などが複雑に絡み合い、先行きの見通せない状況が続いた一年でありましたが、本市では、市民の皆様のおかげがない命と健康、そしてくらしを守るとともに、事業者の皆様への経営支援を進めるなど、各種対策にスピード感をもって取り組んでまいりました。

こうした一方で、昨年は、将来の

まちづくりの道標となる、新たな日立市総合計画がスタートした年でもありました。また、日立総合病院の地域周産期母子医療センターが完全再開を果たし、お子さんを安心して生み育てられる環境づくりをより一層前進させることができました。さらには、久慈サンピア日立の大型リニョールや、かみね動物園新猛獣舎のオープン、そして日立駅前の大型商業施設のリニョールに向けた取組などにより、まちのにぎわいづくりも大きく進展させることができましたほか、デジタル化の推進や「ゼロカーボンシティひたち」の表明など、新たな時代を見据えた取組も進めてまいりました。

本年も、全ての市民の皆様が幸福と豊かさを享受し、未来に夢や希望を描き、安心して健やかに暮らせるまちづくりを進めながら、次世代への架け橋となる「持続可能なまちづくり」を進めてまいりますので、皆様には温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、健康で幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

新春



日立市議会議長
蛭田 三雄

新しい生活様式に対応した 議会運営に向けて

明けましておめでとうございます。
2023年の新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃から、市議会の運営に対し、ご指導、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、いまだ終息の見通せない新型コロナウイルスの影響を始め、急速な人口減少、超少子高齢社会の進展により、私たちを取り巻く社会経済環境は大きく変容し、ウイズコロナを見据えた対応が求められた一年となりました。

このような中であって、本市においては、南部地区の顔である久慈サ

ンピア日立がリニューアルオープンしたほか、かみね動物園には、新たにジャガーを迎えた新猛獣舎の完成、さらには、各種イベントが感染対策を講じながら開催されるなど、まちなぎわいづくりが大きく寄与する明るい話題が続いております。

市議会においては、常任委員会ごととに委員間討議を実施し、市への政策提言につなげたほか、令和3年2月に導入したタブレット端末を活用して、議会資料のペーパーレス化を積極的に推進するとともに、オンライン会議の環境整備など、新しい生活様式に対応した議会運営についても議論を深めております。

本年も全議員が一丸となり、より身近で開かれた議会運営を目指して活性化に取り組んでまいります。さらには、議員間及び行政との議論を重ね、市民の皆様の様々なご意見を適切に市政に反映することができるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆様にとりまして、穏やかで実り多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。